

# 安全・適正就業だより



☆☆☆☆☆☆ 経験過信は事故のもと、安全は基本動作と正しい手順で ☆☆☆☆☆

## 巡回視察報告

8月3日(月)、秩父市立荒川東小学校草刈り作業現場を視察しました。3名の会員が就業していました。安全防具など特に問題はありませんでしたが、児童が休み時間に外に出てきて遊具で遊び始めた時に、その近くを刈っていた会員が手を止めないで刈り続けたので、直ぐに機械を止めるように指示をし、児童が近くにいる時は、必ず機械を止めるように伝えた。また、特にこの暑い時季は、水分をこまめにとり熱中症に十分注意するように伝えた。



## 事故報告

8月26日、聖地公園グラウンドの草刈作業中に小石を飛散させて、シルバー所有の、軽トラックの窓ガラスを破損した。



この事故は、長期間使用していなかった草刈機(芝刈り機)を運転して起こった事故です。運転に不慣れだったことと、飛散防止カバーが着いていない(外してあった)整備不良な機械を使用したことが主な原因だと思われます。整備不良な機械は、絶対に使用しないようお願い致します。

## 事前の現場確認と作業前に用具の安全点検を行ってください・・・

### 秩父市シルバー人材センター安全就業基準

- 第3条(2) 器具類は、使用する前に必ず点検すること。
- 第7条(2) 会員は、就業現場の環境が、安全衛生面において、安全チェックシートで安全であるかどうかを確認してから、作業に着手しなければならない。

## 作業別・安全適正基準（除草）

### 作業一般

- 2 安全第1に考え、安全就業に心掛けること。
- 5 現場に着いたら、周囲の状況を確認すること。
- 9 用具類の使用は、正しい使用法によること。

### 草刈機作業

- 2 安全ガードは必ず取り付けること。
- 5 作業中は、半径10mに他の人を近づけないこと。また、飛散事故防止のため適切な防護対策を行うこと。



## ★ 身近にあるけど目に見えない 電気の怖さを知ろう ★

全シ協安全ニュースより

電気は私たちの身近にあり、便利で欠かすことのできないエネルギーです。しかし、産業現場だけでなくオフィスや家庭でも、使い方を誤ると一瞬にして死に至る災害が起きます。電気の怖さを知り、安全に使いましょう。

Q 1 なぜ、感電災害は夏に多いのですか？

A 1 汗や素肌で危険が高まります。

感電災害は、6～9月に多く発生します。

皮膚が濡れた状態であると体に電流が流れやすくなります。暑い時季は汗で体が湿っていたり、軽装により肌を多く露出しているため危険が高まるのです。

（出所 中央労働災害防止協会「安全衛生かべしんぶん」より抜粋）

## 全国統一スローガンが決まりました！（全シ協）

「いつまでも 働く喜び 無事故から」

※令和4年度までのスローガンとなります。

秩父市シルバー人材センター

安全・適正就業委員会

秩父市野坂町1-13-14

電話 22-4454